



ひとづますナイパー











ほ、ほあはっー！
んんっ、んんっ、んんっ……

ははははは

はははは

ははははは

ははは

し、しよんなっー！
しよんな遠慮なく
中出しするなんてええっー！

がるるる





な、ないっひい！
そ、そんな強引にい！

ぐんぐん♡

ぐんぐん♡

ずずがま♡

じりじりじり
捻じ込んでくる
あっ、なんてええ...



いんざん

くほっー!?!?
んおっ、おっおお!

いんざん

いんざん

し、しよねに動くっー!
「このおちんぽっ
「りり動くのおお!?!?



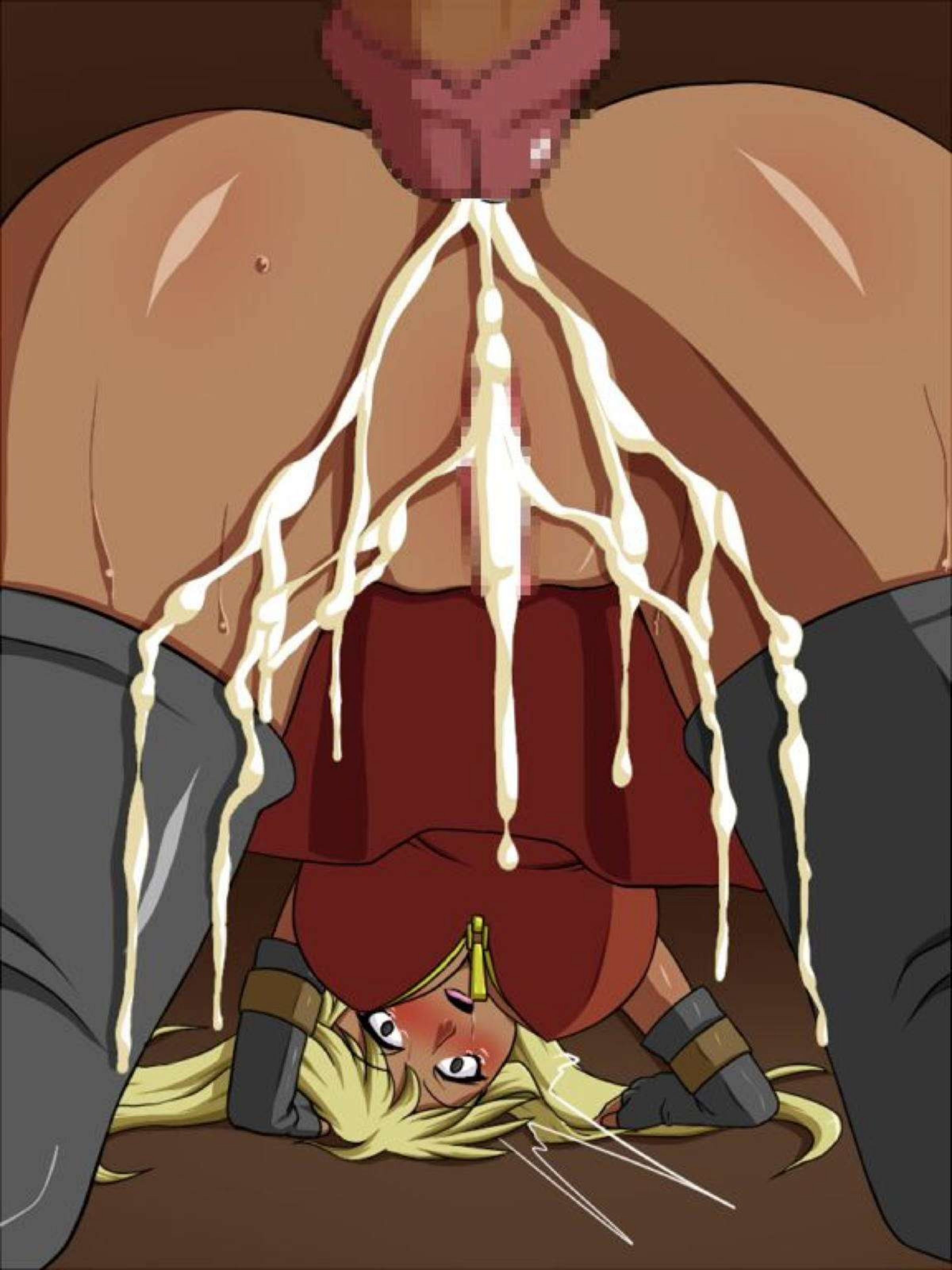
は入っ、はっ、はっ
こ、こんなあ…
2、2発でこんなに…

とろっ♡

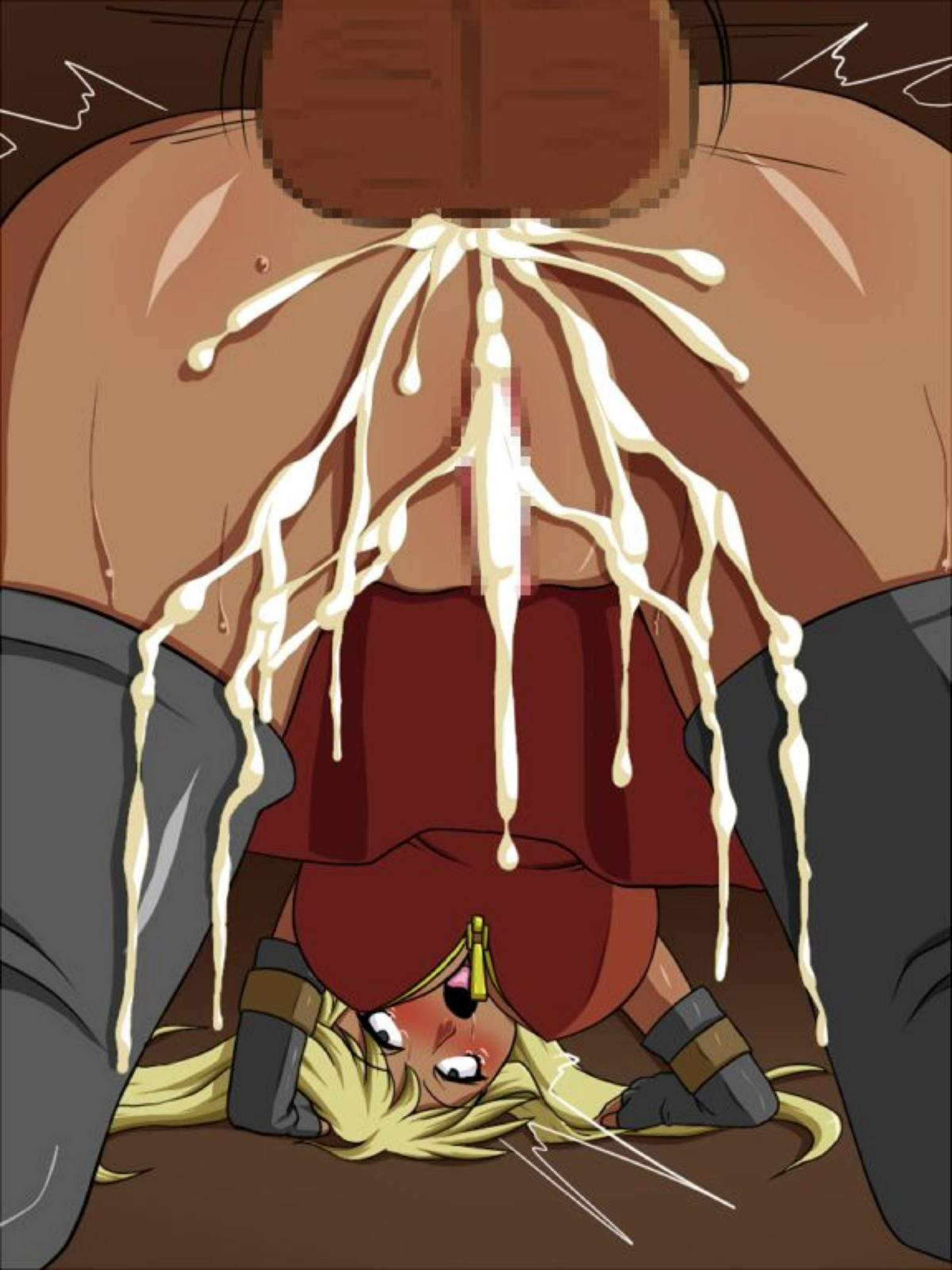
んく♡

んく♡

こ、これ以上は…
これ以上はだめっ
だめったら…




















若い女の捕虜と云うのは
立場に関わらずこんな辱めは
当たり前のように受ける
そう、他に夫がいたとしてもだ

行方不明になって久しいとはいえ
彼の為に立てていた貞淑な妻の顔を
引き剥がし、淫乱のド変態に
作り変える為の宴…そう、調教はこうして始まった





んぐんぐん♡

りゃ、んほおー!?!
あ、おほほ、んほおー!

ずん♡

んぶほおお
り、りゃめして、んほ
いっひゃ、あはあー!?!





ん、んおおっ！？
な、なんねおおっ！？

ん、んおおっ！？

や、やめっ
か、かかろうっ
き、きたにやっ！

ん、んおおっ！？







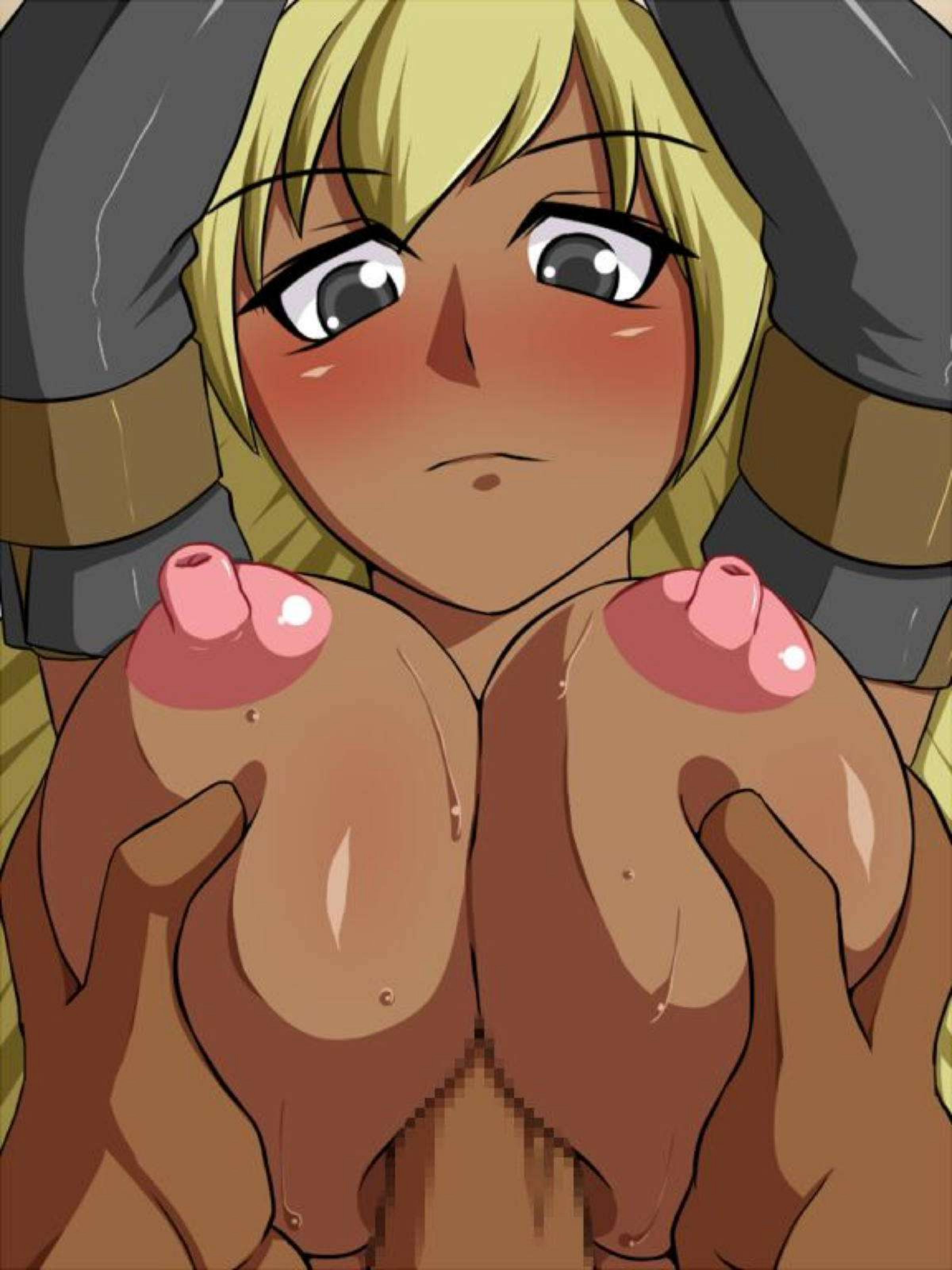
挿入を交えての陵辱は
暫くなり方を潜めてはいたが
他の責めも苛烈なものだった

あゝっ♡

あゝっ♡

あゝっ♡

喉の奥を思い切り突かれ
便器のように精液を吐き出される…
そんな暮らしに、少しずつ
慣れる自分が恐ろしかった





ふあっー!?
はあっ、はっ、ふああ…
くうっ、こ、擦れるっ

ふわっ♡

ト

ふいっ♡

たふいっ♡

たふい♡

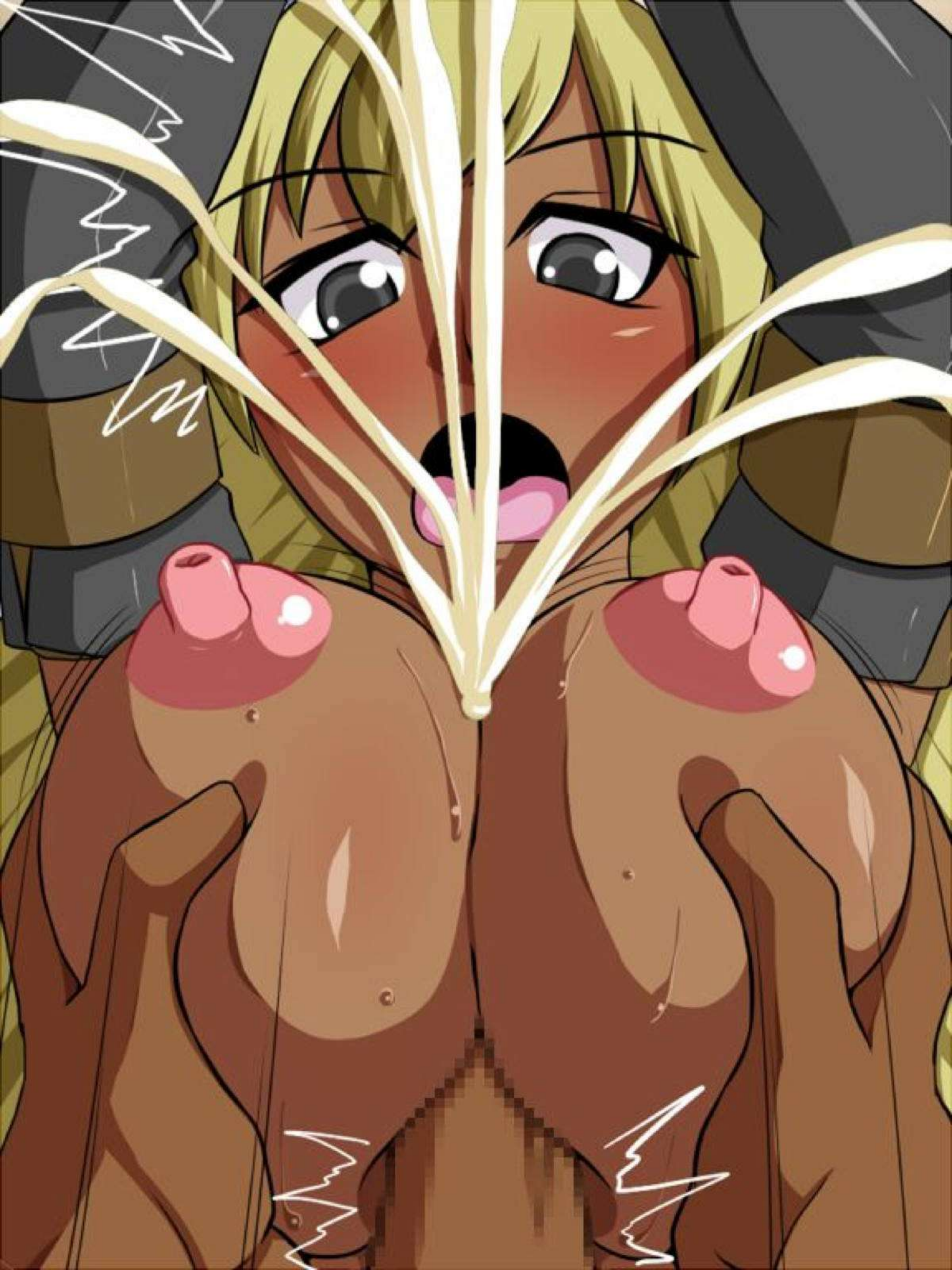
こんなっ、はあっ
モノみたいに出し入れっ
くうっ…

ひっ！！？
び、びくびくしてききたっ
ああっ、せ、精液が…

たはんっ たはんっ

で、出るの？
「」のまま「」のまま
私の顔に…

んっんっ












んおっ「おおー！
おほっ、おほほおおー！
んおおおお…

びっくうっ♡

ぼんゆる♡

「濃いの
濃いのはい
ながひまねる…」





胸責めにも随分なれてきた私
初日の連続アナル中出しや
そこからの放尿に比べれば
このくらいはまだましだった

しかし…
翌日には、私の想像を絶する
責めが行われる事となったのだ



ひ、ひいっ！...？
な、なにっ、それなにっ？

が、びびるっ！

びびるっ！

が、びびるっ！

り、竜？
し、触手竜って...そんな
聞いた事も...

















ひ、ひいっ！？
ま、まだびくびくして...

だ、ダメ、堕ちるう...
そこに今出されたら
忘れられなく...



な、な、なるああ!?
あへはっははあ!?!
んんんおおおっほおお!

いーるー

いーるー

いーるー

溢れるくりやいっ
溢れるくりやい出てるのあー
しゅー、こおーんこー...

あはへっ、はへへ…
えへへっ、はああ…
わ、忘れられなくう…

ほん

ほん

どろ

どろ

も、もう忘れられなく
なっ、は、なったのおお…
はへへっ、えへへえ…










お、おわった…あへっ
わ、私終わっちゃった…

はん♡

あん♡

こんなに、されたら…
人として、へへえっ
終わっちゃったのおお…



ベロンの開発した触手竜の責めは
抜群だった
女を落とす為だけの存在
その責めに耐えられる私ではなかったのだ

はん
最早私はただの肉便器妻
特定の男ではなく、おちんぽ全てを
夫とする誰よりも浅ましい存在だった

たん

い、一体何を？
えっ、わ、私に
生まれ変わった快樂を
教えてやる？

ふは♡

おは♡

おは♡♡

だから、それは一体
どういふことなのかって……

んあっ♡

ふあっ？
な、なにに…なににかくるん

キゅ♡

キゅ♡

む、胸の先端に
せり上がって…
ああ、ま、まさか…





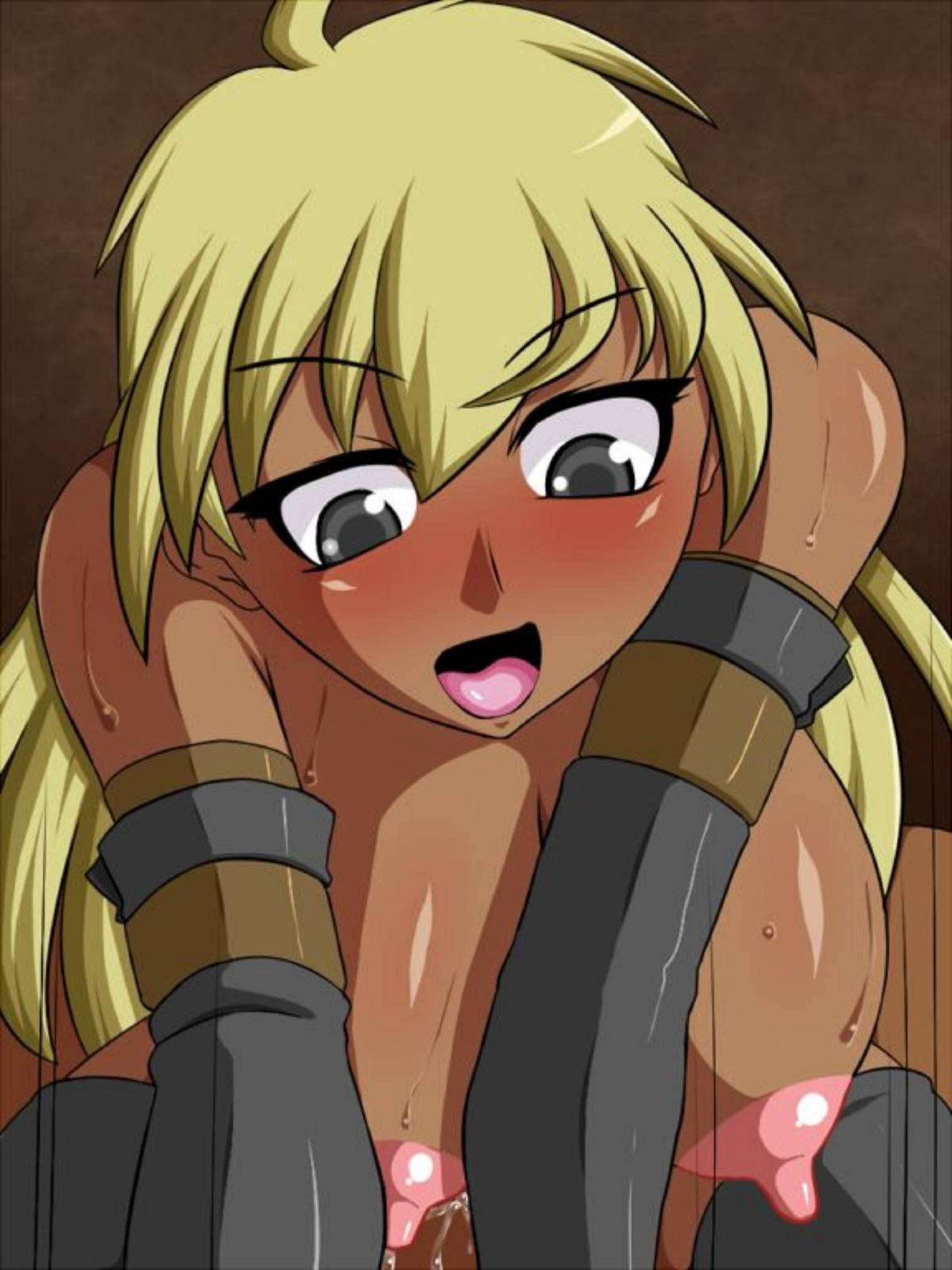
は、あはあああ…
い、イッたああ…

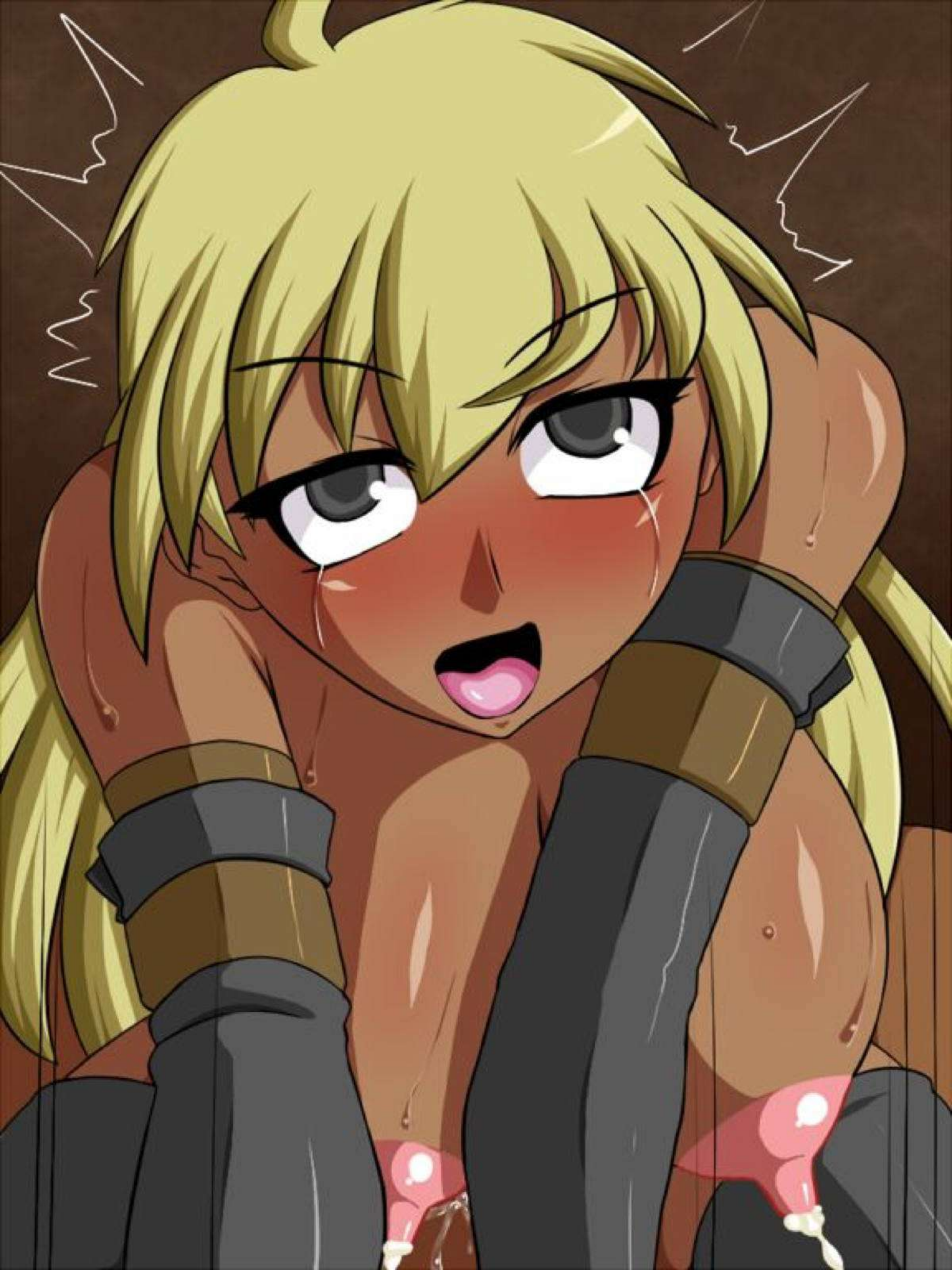
ほん

ほん

お、思いつきり、ええへ
搾乳絶頂かましちやったあ











おほおっ！
はあっ、揺らさわねるよう
ああっ、ミルク出るよう！

ほっ♡

るるん♡


いゅん♡

いゅん♡

ミルク出るとっ
胸も感じるようっ
痺れるのあっ！







淫乱ちんぽ妻として
快楽に耽る日々を送る私
そして、妻としての幸せが
当然のようにやってきた

んへんっ

んげんっ

そう…
愛しい愛しいおちんぽの子供を
身ごもったのだ









ほおっはああ…
あへっはっ、はあ…
ふへ、はへへええああ…

いん♡

ち♡

と♡♡

ち、ちんぽミルクう…
おいひいミルクう
今日も、はへっ
ありがとうっ！まじまじ

こうして淫乱ちんぽ妻として
完成された私は
たくさんの夫に囲まれて
快樂の日々に耽ることとなった

真っ当な人間としては
完全にゲームオーバーだが
私はとても幸せだった